○○大学大学院○○研究科○○専攻に対する認証評価結果

Ⅰ　認証評価結果

（認定する場合）

評価の結果、○○大学大学院○○研究科○○専攻は、本協会の知的財産専門職大学院基準に適合していると認定する。

認定の期間は20〇〇年４月１日から20○○年３月31日までとする。

（認定しない（否）場合）

評価の結果、○○大学大学院○○研究科○○専攻は、本協会の知的財産専門職大学院基準に適合していないと判定する。

Ⅱ　総　評

○○大学大学院○○研究科○○専攻は、固有の目的として「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」を掲げている。これを実現するために「○○○」「○○○」「○○○」という○年度～○年度における中・長期ビジョンを策定し、これを具体化した計画を定めて○○を備えた人材の養成に取り組んでいる。

教育課程においては、「○○」「○○」「○○」の科目群を設け、学年に応じて段階的に履修することができるよう体系的なカリキュラムを編成している。また、教育方法として、○○や○○を取り入れており、「○○」においては、○○○○○などの工夫がみられる。

なかでも、教育において○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ことは、○○○○○○○○○○○○○の達成に有効な取組みであり、○○○○○○といった成果に結びついていることは高く評価できる。また、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ことは、○○○○○○の観点から特色ある取組みといえる。そのほか、教員組織において○○○○○○○○していること、学生支援において○○○○○○○○○○を実施していることは、効果的な教育を支える取組みとして評価できる。

一方で、以下の点については、課題が見受けられる。

まず、教育課程において、○○○○○○○○が十分に整備できておらず、○○○○○が生じていることは課題である。○○○○○○という固有の目的を達成するためにも、○○○○○○○○○○するよう改善が求められる。次に、教員組織において、○○○○○○○○が不足していること、○○○○が十分でない点に課題が見受けられる。教育の水準を向上させるためにも、○○○○することが望まれる。さらに、学生の受け入れにおいて、○○○○○○の問題を継続して抱えていることから、当該専攻においても○○○○○○○○○○○○に着手しており、この成果を検証しつつ、一層の改善に努めることが期待される。

これらの点を改善するためにも、今回の知的財産専門職大学院認証評価の結果を活用し、改善に向けて今後も継続して自己点検・評価活動に取り組み、教育の質のより一層の保証・向上を図ること、さらには、当該専攻の特色をさらに伸張していくことを期待したい。

Ⅲ　知的財産専門職大学院基準の各項目における概評及び提言

１　使命・目的

（１）知的財産専門職大学院基準の各項目に関する概評

【項目：目的の設定】

【項目：中・長期ビジョン、方策】

（２）提言

【長所】

１）

【特色】

１）

【検討課題】

１）

【是正勧告】

１）

大項目２～４　省略

以　上